

平成29年度 尚絅大学 文化言語学部

第10回 公開講座

テーマ

未来の時を刻む



アカデミックに
楽しく学ぼう

【スケジュール】

1 講座90分(質疑時間を含む) 講師はすべて本学の教員です。

開講日	9:00~10:30	10:45~12:15	
10月7日 (土)	開講式 第1講座 多文化時代を生きる～家庭と社会～ 中川 明夫	第2講座 『おあん物語』を読む ～関ヶ原合戦と天草の乱～ 武田 昌憲	
10月21日 (土)	第3講座 記憶の不思議と“華麗” ～いつまでも若々しく～ 小沢 日美子	第4講座 熊本地震後のインバウンドについて ～韓国人観光客を対象に～ 金 承珠	
10月28日 (土)	第5講座 プレゼンテーション入門I 釜賀 誠一 ※IかIIのどちらか一つをお選びください。	第6講座 プレゼンテーション入門II 釜賀 誠一 ※IかIIのどちらか一つをお選びください。	
11月4日 (土)	第7講座 中国の現在 ～中国人の対日イメージの変化～ 北口 英穂	第8講座 国際社会の中の 日本文化 ジョシュ・ノーマン	閉講式

※都合により講師・講座内容が変更になる場合があります。

10 月 7 日 (土)	<p>(第1講座) 多文化社会を生きる ～家庭と社会～</p> <p><small>なかがわ あきお</small> 中川 明夫 教授</p> <p>現在、私たちの身の回りには、様々な国籍を持つ外国で生まれた人たちが暮らしています。一方では、東アジアを中心とした国々から大勢の観光客が熊本を訪れています。この講座ではこのような「多文化時代」をどのように生きればいいのかについて、ディスカッションを通じて一緒に考えてみたいと思います。</p>
	<p>(第2講座) 『おあん物語』を読む ～関ヶ原合戦と天草の乱～</p> <p><small>たけだ まさのり</small> 武田 昌憲 教授</p> <p>関ヶ原合戦の時、石田三成方として美濃国大垣城に籠っていた「おあん」の苦勞話と家族の絆、その後の展開について簡単にお話していきます。</p>
10 月 21 日 (土)	<p>(第3講座) 記憶の不思議と“華麗” ～いつまでも若々しく～</p> <p><small>おざわ ひみこ</small> 小沢 日美子 教授</p> <p>人間の記憶とは、誤りが含まれるものであるという方が、むしろ自然と考えられます。ただ、生活の中で自分も他者も大きな困り感を抱かないことが大切です。講座では、記憶の仕組みと、その発達的变化を取り上げ、日々を“華麗”に生きる手立てを考えていきます。</p>
	<p>(第4講座) 熊本地震後のインバウンド ～韓国人観光客を対象に～</p> <p><small>キム スンジュ</small> 金 承珠 講師</p> <p>2010年、九州における外国人旅行者は初めて100万人を越え、そのうち韓国からの旅行者は約6割を占めるほど、韓国は九州にとって最も重要な市場であります。しかし、2016年4月に発生した熊本地震後、熊本県を訪れた韓国人観光客も半分以下に減少しています。</p> <p>このような状況の中で本講座では熊本地震後に「熊本を訪れた韓国人観光客はどのような観光しているのか」をインターネット等の情報から分析し、これからの熊本におけるインバウンドについて一緒に考える時間になれば幸いです。</p>

10
月
28
日
(土)

(第5講座) プレゼンテーション入門 I

かまが せいいち
釜賀 誠一 教授

自分が持っている情報・事実・考えなどを相手に分かりやすく正確に伝えるために必要な知識や概要を習得します。さらに、プレゼンテーションソフトを実際を使用して基本的なプレゼンテーション資料を作成することで、基本的な操作について習得し、発表時のテクニックについても考察してみます。

(第6講座) プレゼンテーション入門 II

かまが せいいち
釜賀 誠一 教授

※第5・6講座は、同一内容です。第5講座(プレゼンテーション入門 I)と第6講座(プレゼンテーション入門 II)のうちから、一つをお選びください。

11
月
4
日
(土)

(第7講座) 中国の現在 ～中国人の対日イメージの変化～

きたぐち ひでほ
北口 英穂 准教授

日中間の相互イメージは史上最悪と言われていますが、お互いに色々な意味で重要な国という認識は一致しています。現在、日中関係は底を打ち、良くもない悪くもない状況ですが、中国側からは様々なアクションが起き、中国人の対日イメージに変化が生じています。本講座では、こうした日中関係の過去、現在、未来について、現在の中国人の対日イメージの変化を中心に解説します。

(第8講座) 国際社会の中の日本文化

ジョシュ・ノーマン 講師

日本、日本人、日本文化というものが、外国人からはなかなかとらえにくいとよく言われます。歌舞伎やお茶や生花が一方にあり、他方では性能のいい自動車、世界一の生産高を誇るロボットなど、二つの全く異なる性質のものがあるというのは外国人にとっては理解しにくいものでしょう。この講座では、ある日本人が書いた記事を読みながらグループディスカッションをし、「日本文化とは実際、何なの?」という疑問に対して答えを探っていきます。

日 時 平成29年10月7日(土)、21日(土)、28日(土)、11月4日(土)

午前9時00分～午後12時15分 開場 午前8時30分

会 場 尚綱大学 武蔵ヶ丘キャンパス 第11講義室(10月28日は情報処理教室)

対 象 中・高校生以上の方なら、どなたでも受講できます。

受 講 料 中・高校生：無料、一般：一講座につき300円(資料代込み)。

※講座ごとの申し込みになります。受講日に受付にてお支払いください。

全7講座まとめて申し込まれる場合は2,000円。

申込期間 8月29日(月)～9月29日(金)

申込方法 ウェブページ、メール、はがき、FAXでお申し込みになれます(お申込先は下記参照)。

お申し込み時には①氏名(フリガナ) ②年齢・性別 ③郵便番号と住所 ④電話番号

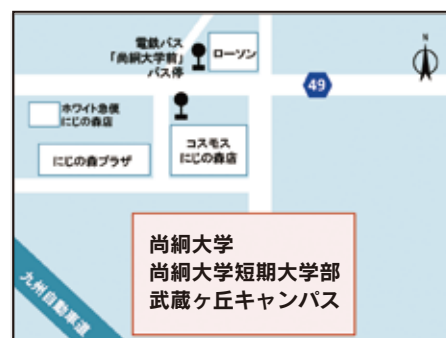
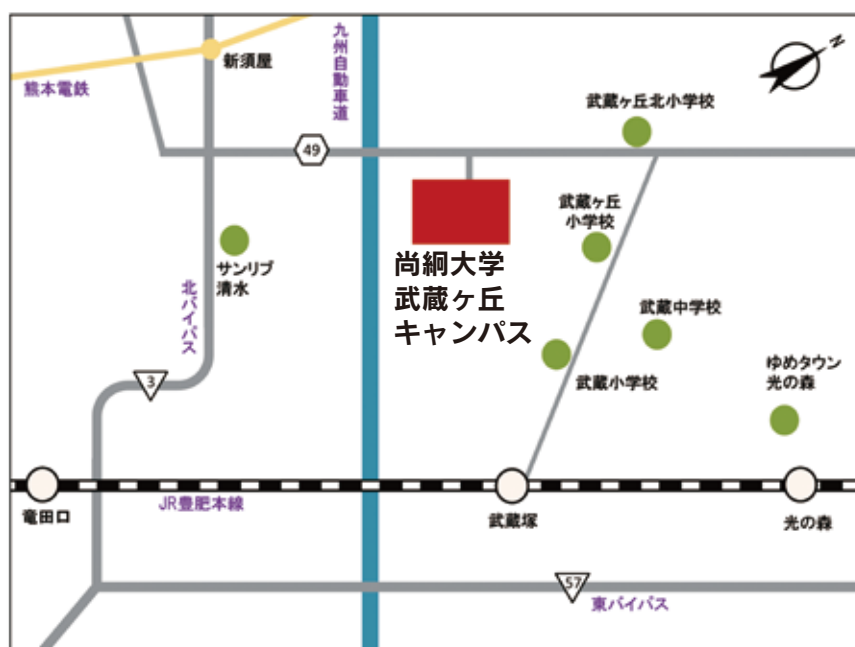
⑤受講を希望される講座の番号 ⑥本講座受講歴の有無をご記入ください。

後日、「受講票」をお送りいたします。

※個人に関する情報は、公開講座に関する用途にのみ使用させていただきます。

特 典 本講座の受講生は、武蔵ヶ丘キャンパスの尚綱大学図書館を6ヶ月間利用できます。

そ の 他 台風・感染症などの理由で延期になった講義は、11月18日以降に行います。



車でお越しの方は、本学の駐車場をご利用いただけます。

【申込先】

〒861-8538 菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1 尚綱大学文化言語学部 公開講座係

ウェブページ：<http://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/bunka/kokai-koza/>

申込先 Eメール：bunka-kokai@shokei-gakuen.ac.jp

【問い合わせ先】

TEL：(096)338-8840 FAX：(096)338-9301 (公開講座係)

※平成28年4月1日より住所表記が変わりました。